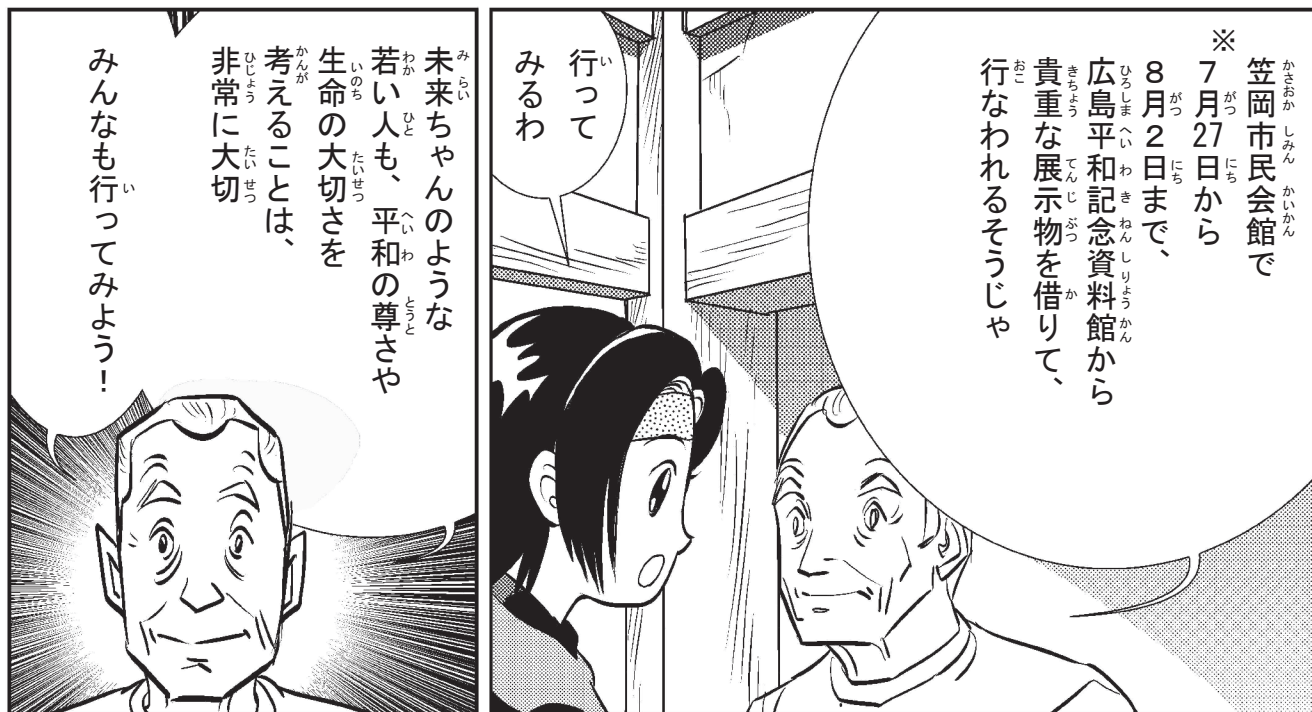
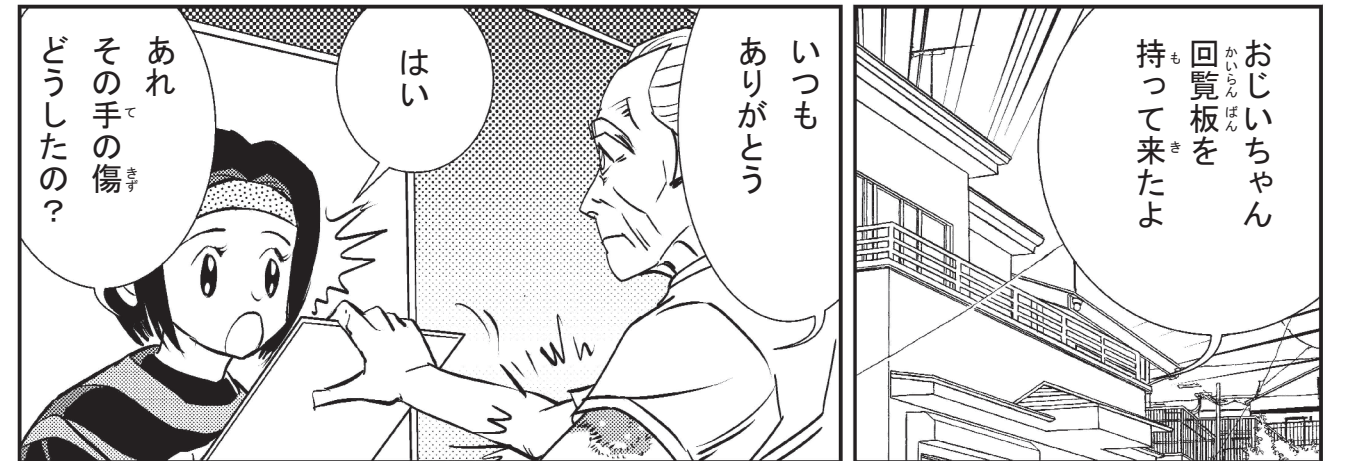




※7月30日は休館日



人権まんが 解説

8月6日、広島は73回
目の原爆の日を迎えま
す。米軍が投下した1
発の原子爆弾は、一瞬
で大勢の人の命や生活
を奪いました。生き残った人た
ちの中には今も後遺症に苦しん
でいる人がいます。

被爆者の悲願だった核兵器禁
止条約は平成29年7月に国連で
採択されましたが、条約制定に
向けた交渉会議では核保有国を
中心に不参加の国も多く、核廃
絶への見通しは立っていません。

こうした中、被爆者の高齢化
は着実に進んでおり、原爆の悲
惨さを後世に紡いでいく「語り
部」の存続も課題です。広島平
和記念資料館が講話を依頼する
被爆者の平均年齢は83歳に達し
ています。

世界中には、約14000発
の核兵器が現在も存在している
と言われています。広島、長崎
の惨禍を二度と繰り返さないた
めに、核兵器廃絶に向けた平和
を願う気持ちを、大切にしてい
かななくてはなりません。